

焚き火を囲む、新しいビジネス合宿施設

「TAKIVIVA（タキビバ）」グランドオープン
「TAKIBlcation（タキビケーション）」提供開始

オンライン記者発表会

2020年9月3日（木） 13:00～

ハンドアウト資料



株式会社きたもっく

2020年9月開業 焚き火を囲む、新しいビジネス合宿施設

風土改革のスコラ・コンサルトと「スウィートグラス」運営のきたもっく

TAKIBication / TAKIVIVA

報道関係者向け内覧会

2020.09.03

@北軽井沢TAKIVIVA(タキビバ)



未来は 自然の中にある。

株式会社きたもっこ

「きたもっこ」が、浅間山の麓に根を下ろして四半世紀。
— きびしくも豊かな自然の中にこそ、未来を創造するヒラメキがある —
強い実感と理念のもと「未来がそだつ場づくり」をすすめています。

「きたもっこ」の地域未来創造事業

きたもっくの原点であるキャンプ場「SweetGrass」は、
火山のつくった荒野に、1本1本、木を植えることから始まりました。
20数年が経ち、いくつもの樹々が、大地に根をはり大空へと枝葉を広げています。

SweetGrass

365日のアウトドア・フィールド



1994



Asama Steam Paradise
大空と大地に会いに行く



2006

SWEETGRASS ADVENTURE

樹下から、果立っ



2009

LUOMU

森から野牛もえる胃の愛たち



2010

ASAMA STOVE

日々、火暮らし



2010

Lilac

またがる書る、ライフレック



あさまの薪

山との豊かさをつきあい



百蜜
nanomitsu

ミツバチとまもる森



TAKIYIVA

タキビバ
未来発火高





25年で、一本ずつ植えた木は大きく成長し、
荒涼の大地は、年間10万人が集う居心地のよい場を創りあげてきました







Signpost with text, partially obscured by foliage.

Sweet Grass



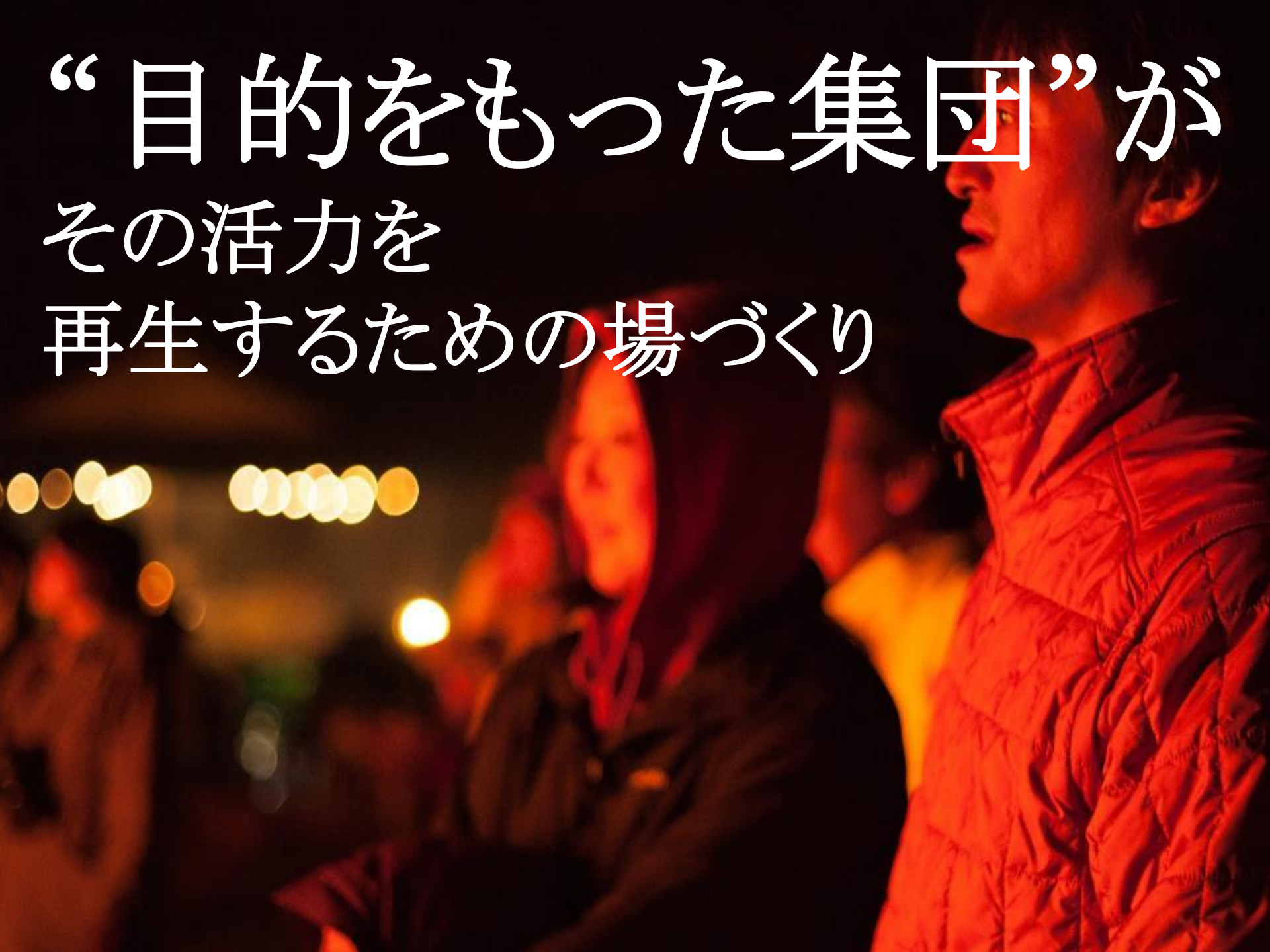
“家族”が 再生するための 場づくり



タキビバ



“目的をもった集団”が
その活力を
再生するための場づくり



ゆらぐ炎を囲みながら
“本音で”
話したくなる場





場づくり

×

対話
プロセス

株式会社 スコラ・コンサルト

新事業「TAKIbication」 オンライン記者発表会



2020/09/03
株式会社スコラ・コンサルト
代表取締役 辰巳和正

スコラ・コンサルトは、 組織風土改革コンサルの パイオニアです

- ・ 創業：1986年
- ・ 特徴：オフサイトミーティング・プロセスデザイン
- ・ 実績： 1,000社以上のコンサルティング
150,000回以上のオフサイトミーティング





本音で話し合う

役割立場を超えて
本音で話し合い
聞きあうこと

本音で話す「こだわる」ポイント

1. プロセス

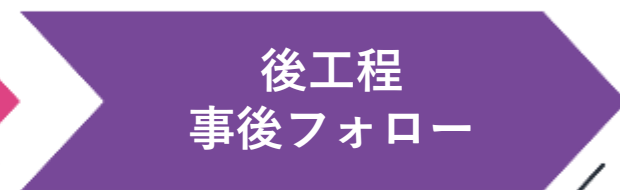
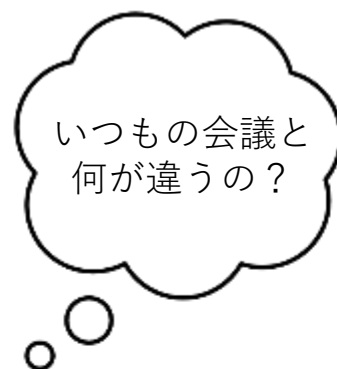
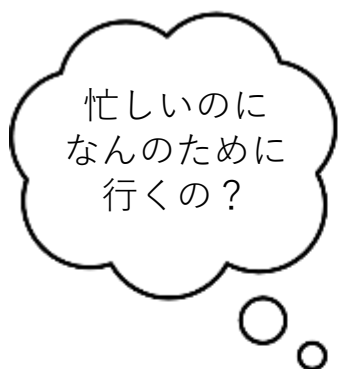
前工程
(意味・腹落ち)

本工程
(話し合いプロセス)

後工程
(仕事へのつなぎ)


本音で話し合う

役割立場を超えて
本音で話し合い
聞きあうこと




目指す状態

しっかり準備
参加者が納得して
参加する



目指す状態

会議ではない本音
で話し合うために
必要な進め方



目指す状態

会社や仕事に具体
的な変化が起きて
いる

本音で話す「こだわる」ポイント

1. プロセス

前工程
(意味・腹落ち)

本工程
(話し合いプロセス)

後工程
(仕事へのつなぎ)

本音で話し合う

役割立場を超えて
本音で話し合い
聞きあうこと

本音で話す「こだわる」ポイント

1. プロセス

前工程
(意味・腹落ち)

本工程
(話し合いプロセス)

後工程
(仕事へのつなぎ)



本音で話し合う

役割立場を超えて
本音で話し合い
聞きあうこと



2. 場所・環境

オフサイト・
ミーティング
⇒ 職場を離れる

2つの条件
安心とゆらぎ

安心

本音で話せる安心感

ゆらぎ

前提や今までの社内常識をゆらがす

開放感がある
自然がゆたか



一人で考える
少人数で考える



本音で話し合う

Sweet Glass



TAKIVIVA



本音で話し合う

1. プロセス

2. 場所・環境



TAKIBIcation

TAKIVIVA

タキビバ



kitamoc

本音で話し合いたくなる

【腹落ち】 前工程

参加者に**やらされ感**がある（やる気がない、面倒くさい）
→ やっても効果が出にくい、アウトプットの質が上がらない

【プログラム】 本工程

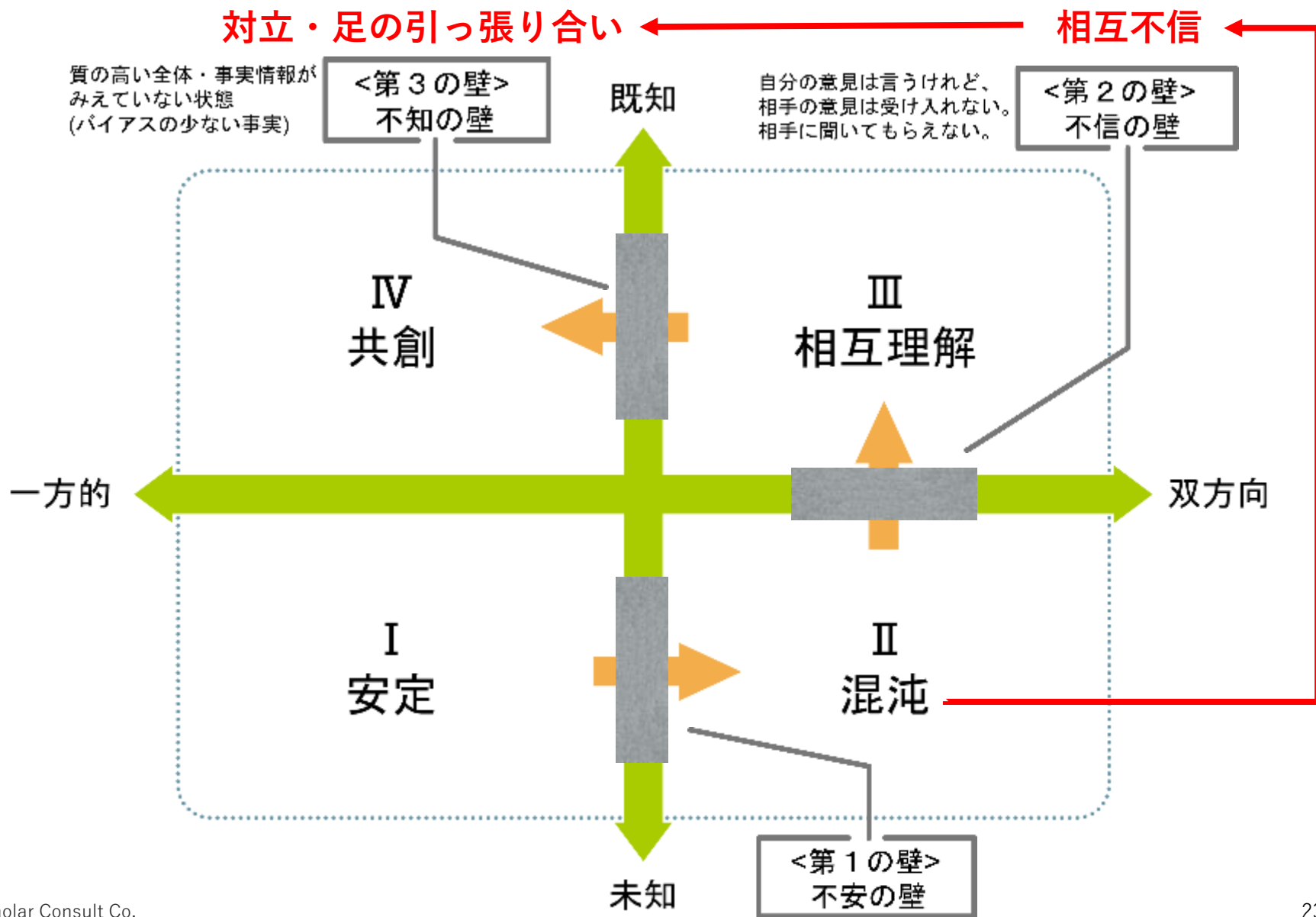
・ 結局**いつもの会議と同じ構図**になってしまう
→ 自由な意見が出ないので会議室でやるのと変わらない

【進行・ファシリテーション】 本工程

・ **進行管理やファシリテーション**がうまくできない
→ 進行がまごつき時間を浪費する、会議の質も上がらない

【結果を実務に活かす】 後工程

・ 合宿が**オンサイト（通常業務）**つながっていない
→ 業務に反映されない（話せて盛り上がったけどそれで終わり）



TAKIVIVAの根っこ

地域エネルギー

の

“循環”





炊火食房

地産エネルギーを体感しての協働作業で、
他者を感じる場



炎舞台 & 火野間

様々な“焚火”を体感し、
他者理解をすすめる場



シェルター

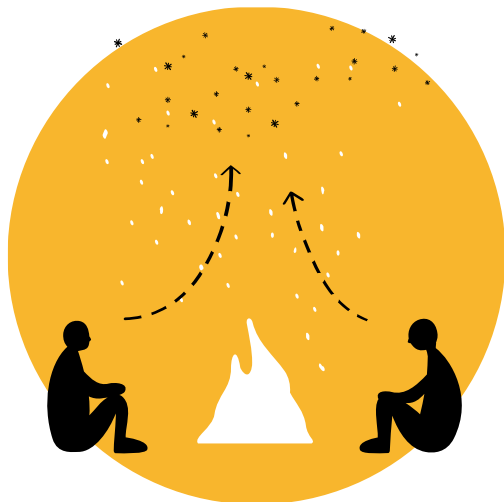
穏やかな空間で相互理解(離合)を深め、
内省する場



焚火ディスタンス

4月15日現在

TAKIVIVA(タキビバ)には、「3密」を防ぐ仕組みが備わっています



密閉しない
野外空間

焚火は空気の流れない密閉空間ではできません。火を焚くと自然な上昇気流が生まれるから、ウイルスも風に乗って空へ。



密接しない
自然な距離感

焚火を介することで互いの密接を防ぎます。真向かいで座りあっても、間に焚火があれば2mほどの距離が自然に保てます。



密集しない
広々敷地

タキビバの敷地は広く、限られた人数の貸切施設です。不特定多数の出入りがなく、人の流れや密度をコントロールできます。

The future is in nature.



未来創造

相互信頼

互いを尊重し認め合う関係性
(本音で話せる関係性)

内省

による自己理解



共感

による他者理解

TAKIVIVA

自然／離合／協働

TAKIVIVA

タキビバ

- ・ 開業日: 2020年9月1日
- ・ 敷地面積: 約10,000㎡ (3,300坪)
- ・ 最大宿泊者数: 40名
- ・ 最大施設利用者数: 80名
- ・ 宿泊費用: 25,000円／人(一泊二日二食付 税別)
※基本プランの場合(一棟貸しのため詳細は個別にお見積り致します)

お問い合わせ



kitamoc

0279-84-6633 / takiviva@kitamoc.com

有限会社きたもっく (担当:土屋)

<https://takiviva.net/>

〒377-1412

群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢1990-5647



■ 自動車の場合

【東京方面】 上信越自動車道 碓氷軽井沢ICから約50分 国道146号線(ロマンチック街道)を北上
【新潟方面】 関越自動車道 渋川伊香保ICから約90分 上武道路からハッ場バイパスを通過して南下

■ 電車の場合

【東京方面】 JR上越新幹線 軽井沢駅からバスで50分+徒歩20分
【新潟方面】 JR吾妻線 長野原草津口駅からバスで30分+徒歩20分

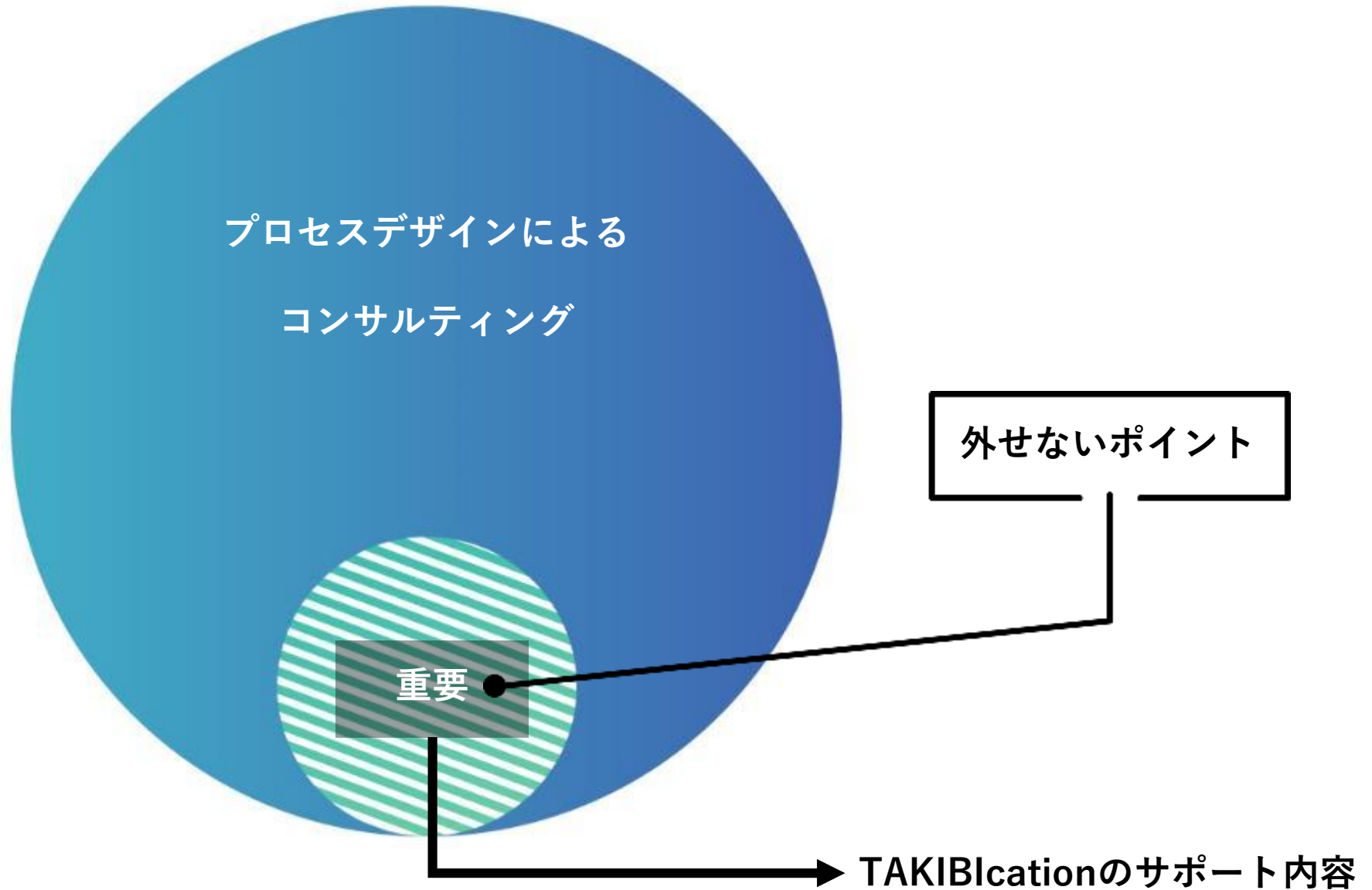
■ 高速バスの場合

【東京方面】 渋谷駅マークシティ前から、北軽井沢観光協会前バス停まで約4時間+徒歩20分

時間は目安です。交通状況により変わりますので、ご注意ください。

「TAKIBication」

サポート内容について



前工程 事前準備



合宿前の1～2ヶ月
WEB会議・メール

- ①目的・ゴールの言語化
参加メンバーへの共有
- ②プログラムの提案
(プロセスづくり)
- ③ファシリテーションの
ノウハウ・スキルの提供

本工程 当日のサポート



1泊～2泊
WEB会議もしくは現地で支援

- ※オプション
- ①WEB相談デスク開設
 - ②ファシリテーション支援

後工程 事後フォロー



合宿終了後1ヶ月
WEB会議・メール

- ①振り返り支援
(アンケートの実施等)
- ②今後に向けての
作戦ミーティング
- ③変革のナレッジ提供

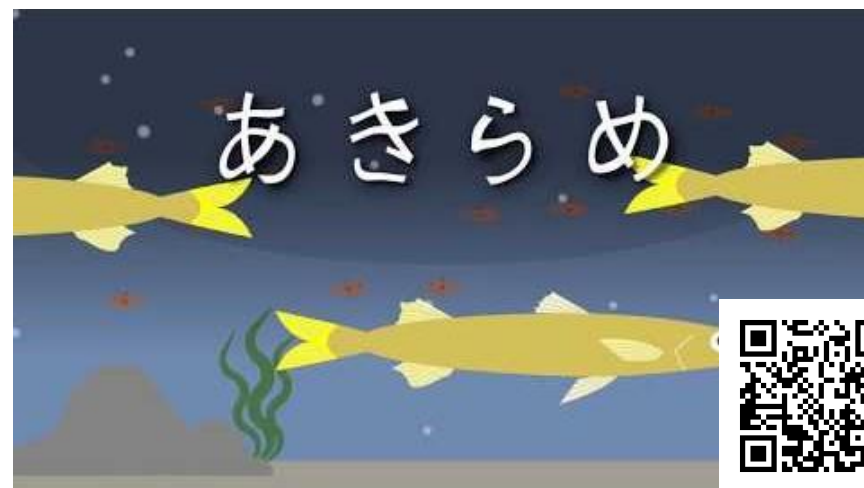
書籍・ハンドブック



Howto オフサイトミーティング<サンプル版>



はじめよう！オフサイトミーティング<意味・目的編>



《参考資料》合宿スケジュール例

当日のタイムスケジュール概

1日目



2日目

